

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/教育・広報部

運輸現業機関乗務員運用の見直しについての提案を受ける

25日、横浜支社より『運輸現業機関乗務員運用の見直しについて』の提案を受けました。提案の説明として「社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大することを目的として、乗務員運用を見直し、乗務行路内で駅業務等を行うと説明がありました。

1. 実施箇所
大船運輸区
国府津運輸区
熱海運輸区
2. 実施内容
乗務員運用を見直す。
3. 周知・教育
必要な周知・教育は実施する。
4. 実施日
2022年7月1日
5. その他
2022年7月1日より熱海運輸区は小田原・伊豆統括センターとして発足予定。

提案交渉で明らかになったこと

- ・随時行うとしているが、現場と調整する中で大船・国府津・熱海運輸区となった。
- ・日勤のみならず、泊勤務での対応部分もある。
- ・基本的には全員対象となる。
- ・行う業務として考えられているのは、お客さま案内・改札業務・車内点検となる。
- ・赴く箇所として大船運輸区は大船駅。国府津運輸区は国府津駅。熱海運輸区は熱海駅。他の駅も行くことも有り得ると考えもある。
- ・運輸区の運転士・車掌各1行路ずつ。行路に駅業務という指示になる。
- ・時間については概ね1時間程度。その前後には必要な移動時間として準備時間を付与する。
- ・本体エルダーについては本人希望となる。必ず行うということではない。本人に確認をしてやらないとなれば違う指示をする。
- ・今後の本体エルダーの方については雇用契約にいれるかどうか検討中である。

運輸職場のみではなく、駅職場でも今施策について考えよう！！